

校 内 研 修 計 画 書

1 学 校 名 婦恋村立東部小学校

2 学 校 長 氏 名 木 檜 康 則

3 研 修 主 任 氏 名 根 岸 菜 穂 美

4 平成27年度の研修について

- (1) 主題 友達と積極的にコミュニケーションを図る児童の育成
～自分の思いや考えを英語で表現する活動を通して～

(2) 成果と課題

文科学委託事業「英語教育強化地域拠点事業」（第2年次）を推進する中で、本校は、本事業に係る実態調査及び群馬県版英語カリキュラムに基づいた授業づくりと、指導に生かす評価方法（パフォーマンス評価、振り返りカードの分析など）を実施してきた。児童は「英語は楽しい」「また、英語を使ってみたい」など学習意欲をのぞかせ、学級担任（授業者）も「英語の授業が少し楽しくなってきた」と授業づくりに意欲を示したりする場面が見られた。

今後も、学級経営を基盤とした授業づくりを通して、コミュニケーション活動を中心とした学習過程の工夫・改善、英語の教科化に向けた評価の在り方についての研修を深めていく必要がある。

5 平成28年度の研修計画

- (1) 分野 小学校外国語活動

- (2) 主題 友達と積極的にコミュニケーションを図る児童の育成
～自分の思いや考えを英語で表現する活動を通して～

(3) 主題設定の理由

近年、グローバル化の加速的な進展により、様々な人々と協働し、問題を解決したり新たな考えや方策を生み出したりすることのできる人材が求められている。国際舞台で活躍していくためには、日本の文化に対する深い理解を前提とした、語学力が必要である。言語は、コミュニケーションツールとして重要なだけでなく、その能力を育むことで社会性も培われる。特に、国際共通語である英語によるコミュニケーション能力の育成について、小・中・高校が連携し、効果的・系統的に取り組を進めていく必要があり、小学校からの積極的な取組が求められている。そこで、平成32年度に完全実施される小学校の「5年生からの英語教科化」と「3年生からの外国語活動必修化」を見据え、本年度も、文科学委託事業「英語教育強化拠点事業」に取り組み、第3年次の研究成果として周辺校へ発信していきたいと考える。

本年度は、昨年度の成果と課題を踏まえ、学級担任とALTとのTTによる指導を中心とした授業実践を通して、身近な話題についての理解や表現、情報・意見交換等ができるコミュニケーション能力の育成を図るため、目標や指導内容、学習・指導方法、学習過程、学習評価等の在り方についてさらに研修を深めたいと考え、昨年度と同様に本主題を設定した。

(4) 研修内容及び方法

外国語活動の本体授業（一単位時間）及び短時間学習（15分モジュール）の指導とその評価を実施し、外国語活動型（中学年）及び教科型（高学年）に関する研究授業（校内）や公開授業（県内または管内）を通して、児童のコミュニケーション能力の育成に向けて授業の工夫・改善を図る。

(5) 組織

校長—教頭—研修推進委員会—全体会（必要に応じて学年部会【低・中・高学年】）

(6) 年間計画

- ・ 4月～ 5月 研修計画の立案
- ・ 6月～12月 授業実践【一人1授業公開】（研究授業、公開授業、計画訪問等）
- ・ 1月～ 3月 研修のまとめ（成果と課題の明確化）